

製品名: GK1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11452**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	57kDa

抗原情報

遺伝子名	GK
別名	GK; Glycerol kinase; GK; Glycerokinase; ATP:glycerol 3-phosphotransferase
遺伝子 ID	2710.0
SwissProt ID	P32189
免疫原	抗血清はヒト GK 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 461-510

背景

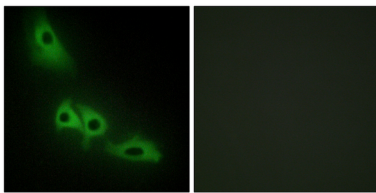
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、FGGY キナーゼファミリーに属します。このタンパク質は、グリセロールの取り込みと代謝の制御において重要な酵素です。ATP によるグリセロールのリン酸化を触媒し、ADP とグリセロール-3-リン酸を生成します。

この遺伝子の変異は、グリセロールキナーゼ欠損症 (GKD) と関連しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2011 年 3 月],触媒活性: ATP + グリセロール = ADP + sn-グリセロール-3-リン酸。注意: ここに示す配列は、Ensembl 自動解析パイプラインから得られたものであり、予備的なデータとして考慮する必要があります。疾患: GK の欠陥は、GK 欠損症 (GKD) の原因です[MIM:307030]。この疾患は、断続的な代謝および中枢神経系の代償不全を伴う症候性の場合もあれば、高グリセロール血症および高グリセロール尿のみを伴う無症候性の場合もあります。機能: グリセロールの取り込みと代謝の調節における重要な酵素です。経路: ポリオール代謝; グリセロールキナーゼ経路によるグリセロールの分解; グリセロールからの sn-グリセロール 3-リン酸: ステップ 1/1。類似性: FGGY キナーゼ ファミリーに属します。細胞内局在: 精子および胎児組織では、酵素の大部分はミトコンドリアに結合していますが、肝臓などの成体組織では細胞質に存在します。組織特異性: 肝臓、腎臓、精巣で高発現しています。アイソフォーム 2 および 3 は精巣および胎児肝臓で特異的に発現しますが、成体肝臓では発現しません。、

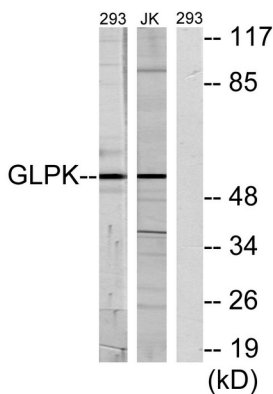
研究分野

グリセロ脂質代謝;PPAR;

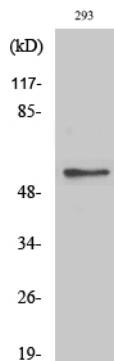
画像データ



GK 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



GK 抗体を用いた 293 細胞および Jurkat 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



GK1 ポリクローナル抗体 (1: 2000 希釈) を用いた各種細胞のウェスタンブロット解析

